

Mac OS 用 Web 版付録5 データの読み込みと呼び出し

5-1 外部データファイルの読み込み

〈Mac OS 専用〉

【注意】 Mac OS 用 Web 版付録5-2 と 5-3 は、別のリンクにあります。

R コマンダーは、テキストファイルやExcel ファイル等の形で作成されたデータのファイルを読み込んで、分析をすることができます。ここでは、Mac OS 用 Web 版付録4 でダウンロードした“多変量解析データセット”のフォルダに含まれるデータファイルの読み込み方法を例にして説明します。

なお、以下の説明は、次のコンピュータ環境を前提にします。

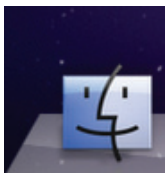
- 基本ソフト (OS) : Mac OS X 10.6.3 Snow Leopard

外部データファイルの読み込み方法

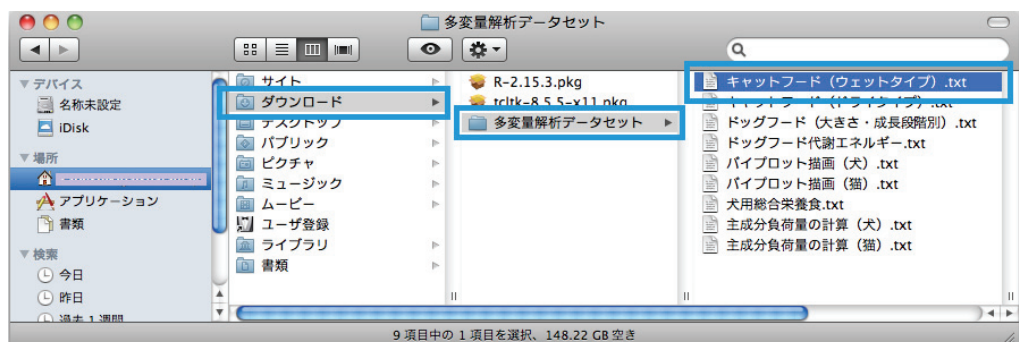
Mac OS 用 Web 版付録4 でダウンロードした“多変量解析データセット”のフォルダに含まれる“キャットフード(ウェットタイプ)”というデータファイルを、Catfood01 という名前で R コマンダーに読み込む方法を例にして説明します。

1. デスクトップ上の“Finder”のアイコンをクリックし、表示されるウィンドウで、“ダウンロード”、“多変量解析データセット”の順にフォルダをクリックします。操作説明図 M51-1 のように、一番右の欄に“多変量解析データセット”のフォルダに収められているデータファイルが表示されます。その中の“キャットフード(ウェットタイプ)”というデータファイルをダブルクリックします。

操作説明図 M51-1



“Finder”のアイコン



- 操作説明図 M51-2 のように，“キャットフード（ウェットタイプ）”というウィンドウが開きます。このウィンドウの適当な箇所をクリックしてアクティブ・ウィンドウにすると、操作説明図 M51-2 上部のメニューが表示されます。メニューの中の「ファイル」をクリックし、提示された選択肢から“別名で保存”を選びます（操作説明図 M51-3 参照）。

操作説明図 M51-2



操作説明図 M51-3

商品名	対象	タンパク質	脂質	粗灰分	粗繊維	水分	タンパク	食
栄養型	アラキドン酸	オメガ6系不飽和脂肪酸	オメガ3系不飽和脂肪酸	オメガ3系不飽和脂肪酸	カルシウム	EPA		
+DHA	代謝エネルギー<NRC85>	代謝エネルギー<ロイヤルカナン実測値>	カルシウム					
リン	ナトリウム	薬素	カリウム	マグネシウム	銅	鉄		
マンガン	亜鉛	セレン	ヨウ素	ビタミンA	ビタミンB3	ビタミンB6	ビタミンB12	
タミンB1	ビタミンB2	パントテン酸	カルシウム	ビタミンB6	ビタミンB12			
ナイアシン	ビオチン	葉酸	コリン	ルテイン	L-カルニチン	コ		
ンドロイデ硫酸+グルコサミン	タウリン							
ペビーキャット	断乳期の子猫	8.5	3.5	2	2	82	1.7	
	1.5	0.12	1.2	0.15	0.09	912	952	0.10
0.16	0.14	NA	NA	NA	3.7	23	6.8	22
0.27	0.5	45	290	115	30	0	12	3
0.03	40	0.08	0.6	600	1.2	12	NA	0.12
キトン・インスティックタイプ	子猫	10	2	1.7	1.6	82	2.4	
	1.1	0.07	0.8	0.15	0.06	862	913	0.13
0.12	0.15	0.12	0.11	0.008	5.5	26	6	16
0.045	0.5	20.7	270	100	30	4.4	11	2.9
0.028	26	0.1	0.9	560	1.1	12	NA	0.11
インスティックタイプ	健康的な成猫	10	0.0	1.9	1.0	82.5	2.0	2.0
	1.2	0.055	0.6	0.1	0.07	777	825	0.12
	0.17	0.14	0.15	0.02	5	40	6	25
0.045	0.5	35	140	60	3	2	9	0.6
0.02	10	0.08	0.5	600	NA	NA	NA	0.1
ウルトラライト	体質管理が難しい猫	0.2	0.5	1.0	2	85.5	1.9	
	1.6	0.002	0.44	0.03	NA	632	674	0.29
0.19	0.11	0.12	0.25	0.026	3	20	4	30
0.05	0.2	15	170	59	30	3	4	1.5
0.009	15	0.045	0.3	530	NA	40	NA	0.05



- 操作説明図 M51-4 のウィンドウが開きます。“標準テキストのエンコーディング”の右の欄にある矢印をクリックし、表示された選択肢から

Unicode (UTF-8)

を選び、右下の **保存** をクリックします。

操作説明図 M51-4



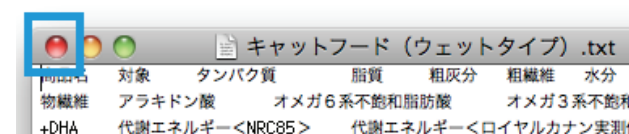
操作説明図 M51-5

- 操作説明図 M51-5 のウィンドウが開くので、右下の **置き換え** をクリックします。



- “キャットフード（ウェットタイプ）”のウィンドウに戻り、左上の赤丸×印をクリックして、このウィンドウを閉じます（操作説明図 M51-6 参照）。

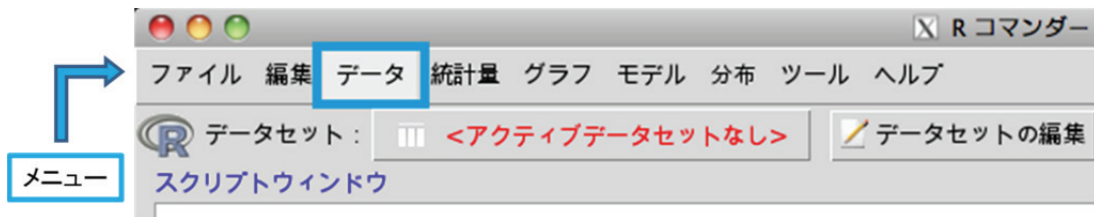
操作説明図 M51-6



【参考】手順1から手順5は、データファイルの文字コードを変換する作業です。Mac OS上のRコマンドーは、文字コードをUTF-8にししないとデータファイルを読み込むときにエラーを生じるようです。

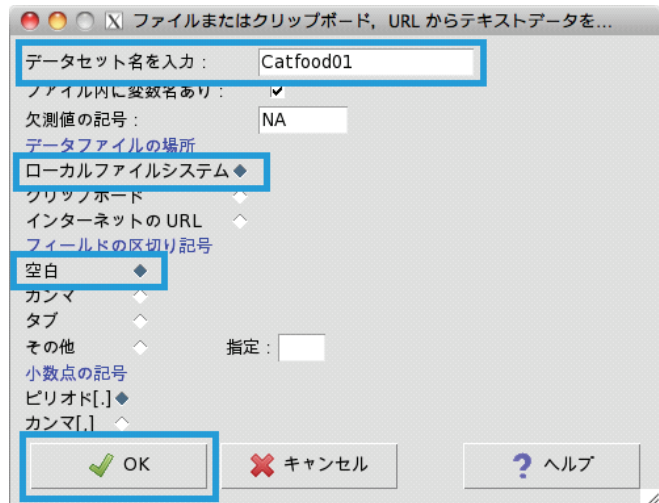
- Mac OS用Web版付録3「Rコマンドーの起動と終了」の手順にしたがって、Rコマンドーを起動します。
- Rコマンドーのウィンドウ上部を表示した操作説明図M51-7において、メニュー（ファイル、編集、データ、…、ヘルプと表示されている行）から「データ」を選び、提示される選択肢から「データのインポート」→「テキストファイルまたはクリップボード、URLから…」とクリックしながら進みます。操作説明図M51-8のウィンドウが開きます。

操作説明図 M51-7



操作説明図 M51-8

- 操作説明図M51-8のウィンドウで、“データセット名を入力:”の欄にCatfood01と入力し、データファイルの場所では“ローカルファイルシステム”，フィールドの区切り記号は“空白”のままにします。その上で、左下のOKをクリックします。

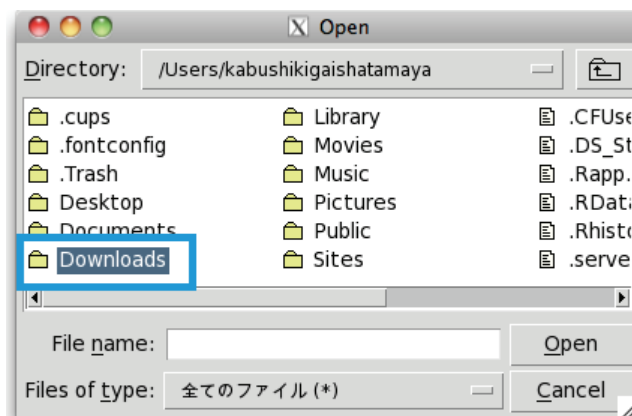


【参考】操作説明図M51-2で見るデータファイルにおいて、データがカンマ“,”記号で区切られている場合は（CSV形式という）、手順8でフィールドの区切り記号の箇所を“カンマ”に印をつけます。

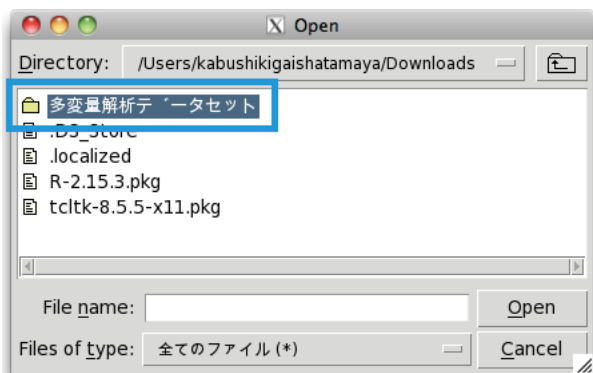
9. 操作説明図 M51-9 の“Open”のウィンドウが開くので、“Downloads”のフォルダをダブルクリックします。

10. 次に表示される操作説明図 M51-10 のウィンドウでは“多変量解析データセット”のフォルダを、その次に表示される操作説明図 M51-11 のウィンドウでは“キャットフード (ウェットタイプ)”のファイルをダブルクリックします。

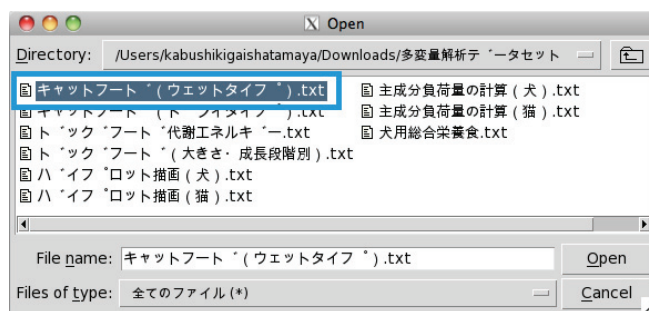
操作説明図 M51-9



操作説明図 M51-10



操作説明図 M51-11



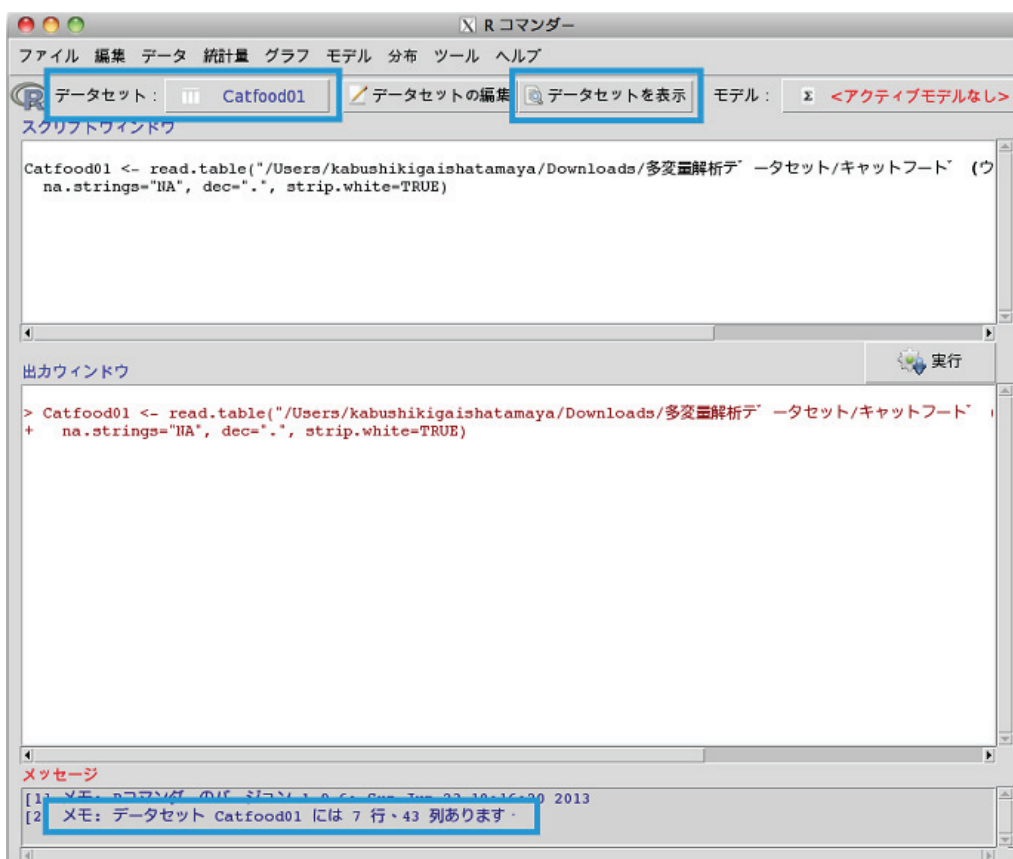
11. R コマンドのウィンドウが前面に現れます。操作説明図 M51-12 のように、R コマンドのウィンドウに次の2つが表示されればデータファイルの読み込みは成功です。

- ウィンドウ左上部の“データセット:”の欄に Catfood01 と青で表示
- ウィンドウ下部にある“メッセージ”という箇所に次の表示

メモ: データセット Catfood01 には 7 行、43 列あります。

【注意】 これらの表示は、“キャットフード (ウェットタイプ)”のデータファイルを“Catfood01”という名前で行き込んだ場合のもので、“データセット:”の欄の名前は、操作説明図 51-8 の“データセット名を入力:”の欄に入力した名前になります。また、“メモ:”における行数と列数は、読み込んだデータファイルによって異なります。

操作説明図 M51-12



12. R コマンダーのウィンドウ上部にある **データセットを表示** ボタンをクリックすると、読み込んだデータ内容を表示したウィンドウが現れます。そのウィンドウを見れば、データファイルがR コマンダーにきちんと取り込んでいるかどうかを確認することができます。